

議会だより



ながめ余興場

昭和12年に建てられた木造の芝居小屋。

最盛期の昭和30年代には芝居のほか浪曲、映画・歌謡ショーが連日開催されたが、昭和40年「梅沢清一座」の興業を最後に、時代の趨勢とともに昭和62年閉館。

平成2年大間々町の所有になって以後、近代化遺産として再び光が当てられ、ながめ余興場の保存と利活用を目的に支援ボランティア団体(ながめ黒子の会)が組織される。現在では、多彩な催しが展開され、和風文化ホールとしても重要な役割を担っている。

第1回定例会(6月)主な内容

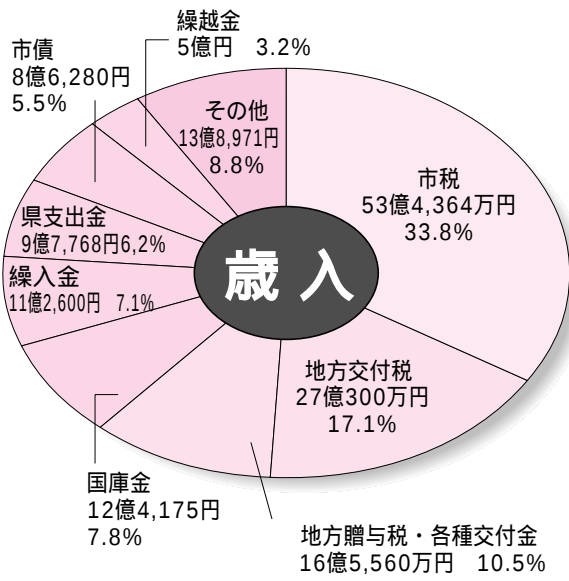
予算審議・請願	2～3
常任委員会報告	4
一般質疑・人事案件	5
総括質疑	6～8
議長あいさつ・常任委員会	9～11
一般質問	12～23
まちの声	24

一般会計 を可決決定

みどり市議会第1回定例会は、6月1日から26日までの会期で、開催されました。

初代石原市長からは新市建設計画にかかげた将来像「輝くひと、輝くみどり、豊かな生活創造都市」の実現を確認しているとの施政方針があり、施政方針に対する総括質疑には各会派から12名の通告があり活発な討論が行われました。

市長からは、合併初年度である平成18年度みどり市一般会計予算など予算関係14議案を含め、平成17年度の一般会計暫定補正予算の専決処分についての承認や、みどり市助役(副市長)選任などの人事案件などが提出され、それぞれ、原案のとおり可決されました。請願は一件提出され、採択となりませんでした。また、議員発議で「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書」を提出しました。議会最終日には、大間々町9区体育振興会の活動費を私的に流用していた議員に対する議員辞職勧告決議案が提出され、全会一致で採択されました。一般質問には23名が登壇し、執行部の姿勢をたどしました。



委員長報告

予算特別委員会に付託された案件は、一般会計予算のほか特別会計10件、企業会計3件の予算設定についての議案14件でした。

審査は、6月15日、16日、19日の3日間にわたり、議場において、委員出席のもと、市長、副市長、執行部の出席を求め行いました。

集中質疑と説明内容

歳入

問 市税の滞納繰越分、市税の収納対策、競売物件について。

財政課長 17年度の2町1村の滞納見込額の20%を滞納繰越分として見込んでいます。

競売物件は、旧大間々町で4件、約511万円である。

歳出

問 地場産品販売施設事業費について。

農林課長 地場産品販売事業費1,744万4,000円のうち、トイレ改修に県の手客万来支援事業で240万円、地場産品販売事業費で900万円、一般財源の持ち出し

は624万4,000円である。

運営形態は東町の生産組合が行い、施設裏側の土砂崩れは機会を見て予算措置を考えている。また土地所有者との交渉は、調整の必要があるが、進んでいるところである。

特別会計

問 農業集落排水事業特別会計における、福岡西・神梅地区管路整備事業について。

都市建設部長 農業集落排水の見直し問題は、7月中旬に地元説明会を開催していきたいと考えている。

審査結果

この他、市政全般にわたり活発な質疑が行われましたが、3日間にわたる審査経過をふまえ、本委員会に付託された議案14件については6月19日討論及び採決を行いました。その結果、付託された全議案は挙手全員で原案のとおり可決しました。

6月26日の本会議では、委員長報告の後、質疑、討論を行い、賛成多数で可決決定しました。

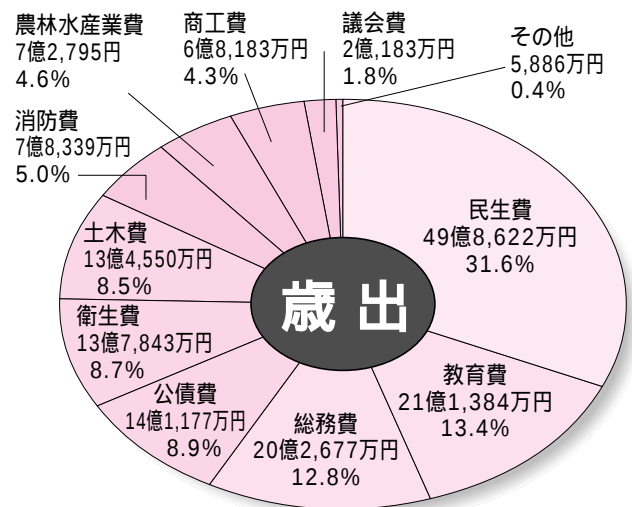
平成18年度 158億円

特別会計予算

特別会計名	予算額
鉄道経営対策事業特別会計	4,018万円
国民健康保険(事業勘定)特別会計	46億913万円
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	1億3,446万円
老人保健特別会計	43億8,067万円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	25億6,223万円
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	4,141万円
簡易水道事業特別会計	5,682万円
農業集落排水事業特別会計	1億1,760万円
下水道事業特別会計	7億3,468万円
競艇事業特別会計	661億7,565万円

企業会計予算

事業会計名	歳入額
水道事業会計	11億2,144万円
農業共済事業特別会計	2億9,913万円
国民宿舎事業会計	4億1,191万円



合併初年度の予算は、旧2町1村の地域別予算配分と比較し、款ごとにどうなっているか等の予算関係付属資料も提示されていない。かけ込み合併で、先送りされた問題も山積している中では理解しなければならぬ資料である。予算の中に、障害者の自立支援法施行に伴う負担増への救済策も見られず、介護保険

一般会計予算 反対討論

料の大幅な値上げでも判るとおり、弱者を守る姿勢が見られない。市民の切実な願いに応える予算を要望する。

請願

「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」請願について

賛成全員で採択し、国に対して意見書を提出しました。

意見書の主旨

米国産牛肉に対するBSE対策については、多くの問題点があることから、改善措置が明確にならない段階での拙速な輸入再開を行わない。

総務文教常任委員会

付託された議案

- 4号 みどり市付属機関設置条例の制定について
- 5号 みどり市国民保護協議会条例の制定について
- 6号 みどり市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について
- 7号 群馬県市町村会館管理組合の規約変更に関する協議について
- 8号 みどり市過疎地域自立促進計画について

審査結果

委員会は、6月21日委員14名及び執行部の出席のもと開催され、詳細な説明を受け、審議した結果、新法令に関連する改正については、関連資料の提出が求められ、今後抜粋を添付する事としました。採択の結果、審議案4号・7号・8号は全員賛成、議案5号・6号は賛成多数により原案通り可決すべきと決定しました。

さらに当面すべき課題として、

- ① みどり市の財政状況の報告を受け、90%を超える経常



東町ちえのみ保育園で落下した天井板

- ② わたらせ渓谷鉄道の沿線赤字体質脱却は可能か、運営状況の報告を受け7月7日、社長・専務の出席者を求め、詳細な説明を受ける事としました。
- ③ 富弘美術館の建設費の内訳並びに運営状況の報告を受け、総額20億円の投資に対し、国県の補助金14億円が見込まれる。17年度の入場者は331万人でありました。

民生福祉常任委員会

民生福祉常任委員会は去る6月20日、委員会を開催し本定例会には付託案件がなかったため、関係する部長、課長を招き勉強会を行いました。提出議題については、みどり市になつての変わった規則、要綱の制定、規則の一部改革であり、主なものとして、介護予防事業に関する規則制定要綱並びに要綱の制定、老人ホームの入所判定委員会設置運営要綱の一部改正、児童手当事務取扱規則の一部改正等について報告をいただき、説明手順として、みどり市高齢者保健福祉計画及び介護保健事業計画、みどり市地域包括センター等の説明を受け最後に質疑応答をとり、市長、副市長も出席をいただき意義のある勉強会であったと思います。

もう一つは、みどり市東町花輪で4月に開園した、ちえのみ保育園の遊戯室の天井板が落下した問題について市側の報告と説明を求め、社会福祉課長が報告説明をした。同報告書によると使用した木材の湿気、吸収による膨張が予想を上回り木材どうしの逃

げ場所が不十分だったため崩壊したことの説明でした。これに対し各委員から市側の徹底的な原因究明を求める意見が多く出され、市側としては設計施工に問題があったのかを確認し一定の判断が出た中で安全対策をとっていくとのべ、副市長もしっかりと第三者的な検証をすることを約束し閉会しました。

経済建設常任委員会

付託された議案と請願

- 9号 市道路線の廃止について10号 市道路線の認定について
- 請願「ずさんな米国産牛肉の輸入に講義し、BSEの万全な対策を求める」請願書について

審査結果

6月20日委員会を開き、付託された案件の審査を行いました。

9号では廃止路線4本ですが3164号線について、質疑、意見が集中しました。この路線は、巾員2mで一般の道路として使用されていない



市道3164号線

いゝための廃止理由ですが、①水道管(石綿管)が布設されている。②パチンコ店の駐車場を横断している。畑の耕作に利用している人がいる。などの問題点があるため、継続審査としました。

10号についても廃止路線との関連があるために継続審査としました。

請願は採択とし意見書を提出することとしました。

7月4日に委員会を開き、問題となった3164号線の現場視察を行いました。次回定例会までに再度委員会を開き、結論を出すこととしました。

一般議案質疑

みどり市付属機関設置条例の制定について。

問 議案書にある別表と正誤表を比べると紛らわしいが。

総務部長 各課に示した例に各課から出されたものが追加され間違いをチェックできなかった。

みどり市国民保護協議会条例の制定について

問 国民保護法の要旨は。

市長 目的にある通り、想定しうる状況の中で国民の保護のために我々に何ができるかということ。

問 平和宣言のまちとして、平和をめざす自治体の役割は。市長 日本国民すべてが平和をめざしている。喜びの歴史ばかりではなく悲しみの歴史もある。それらをすべて理解して、平和を論じたい。

みどり市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について。

問 日本が戦争に巻き込まれるような事態にあるという認識は。

市長 みどり市長として天下国家を論じるのはいかなものか。国として戦争をするか、しないかは当然しない。

問 国民保護法制の具体的な内容は。

市長 武力攻撃、それ自体が異常なこと。正常な時に、異常事態についての対応を話し合っておくことが大事だ。

みどり市過疎地域自立促進計画について。

問 東地区の将来像をどのように考え、運営していくのか。市長 地域の実情にあった政策を進める。旧東村の良いところは継続し、地域の総合力を活用していきたい。

総務部長 みどり市として東地域をどうするかは十分に協議していく。過疎債は事業を進める上で必要である。

市道路線の廃止について。

問 市道大間々3164号線は、明治以来の生活道であり農道であるが、水道管も埋設されている中で、行政が責任をもって答えられるのか。

建設部長 廃止が目的で最後には払い下げるのが最適だと思う。

問 パチンコ店の開発時には、道路の境にフェンスが義務付けられていた。水道管の移設にも、相当の費用が必要では。

建設部長 途中でフェンスが取り除かれた時に、復旧すべきだった。

水道局長 移設すれば、1メ

ートルあたり約7万円位必要。問 この道路を宅地並みで貸すといっているが、水道管の維持管理に支障はないのか。水道局長 維持管理をする上では、道路の状態がよい。

みどり市議会の運営

会派

市議会では、今までの町村とは運営方法が違っています。

一番大きな違いは、議員個人が主体ではなく、会派を主体とした議会運営が行われることです。

「会派」とは同じ政策を持つ集団のことです。

みどり市議会では、二人以上を会派として認めることとし、一人会派は認めないことになっています。

会派を単位とすることで、議会の能率的な運営ができることや、会派で議論を行うことで、議員の資質向上にも役立つという利点があります。その反面、会派に所属しない議員の発言の場が制限されるという欠点もあります。

総括質疑

市長の施政方針に対して、その内容全般と、関連する予

算についての質問をいいます。各会派からの代表者が質問を行います。会派の人数により持ち時間が異なり、大きい会派ほど質問時間が多く与えられます。

予算特別委員会

町村議会では、予算審議は全議員で行っていましたが、みどり市議会では、各会派から選ばれた22名の議員で予算審議を行います。

十分な時間をかけて審議し、委員会で採択し、本会議で委員長報告を行った後に、あらためて全議員で裁決を行います。

人事名簿

職 名	氏 名
副市長（助役）	松山 治子
教育委員会委員	岡崎 紀夫
教育委員会委員	関口 和子
教育委員会委員	清水 恒夫
教育委員会委員	丹羽千津子
教育委員会委員	松島 弘平
監査委員	天川 洋
監査委員	平野謙二郎
監査委員	荻野 忠
公平委員会委員	池崎 悦夫
公平委員会委員	石原 四郎
公平委員会委員	齋藤 巖
固定資産評価審査委員会委員	大澤数万治
固定資産評価審査委員会委員	横塚榮三郎
固定資産評価審査委員会委員	吉原 良榮
選挙管理委員会委員	長澤 俊江
選挙管理委員会委員	高橋 豊作
選挙管理委員会委員	堤 善雄
選挙管理委員会委員	山銅 郁子
選挙管理委員会委員補充員	小井土和仁
選挙管理委員会委員補充員	品田 幸子
選挙管理委員会委員補充員	矢内万亀子
選挙管理委員会委員補充員	飯酒孟常正
人権擁護委員	松島 英明
人権擁護委員	小林 勝治

総括質疑

新緑クラブ

問 財政基盤確立のため、企業が進出しやすい環境整備とあるが。

市長 みどり市に合った企業が進出しやすい環境づくりを考えている。空き部屋などをインキュベーション施設などとして起業家支援もしてゆく。

問 命名権販売の対象として市有施設や企業は。

市長 現在、調整に入っている。地元や近接の企業に市有施設等にネーミングを売ること。

問 広告媒体の導入は。

市長 命名権はじめ、市の各種印刷物、封筒や広報紙ホームページ、公用車なども媒体と考えている。

問 東町地域の循環バス導入は。

市長 ニーズの把握に努め柔軟な事業展開をし、利便性をはかりたい。

問 上電の課題は。

市長 沿線住民の減少イコール収入率の悪化につながっている。支援自治体の財政状況も関係しており、あらゆる可能性をさぐって行きたい。

問 鉄路存続支援組織の協議会とは。



わたらせ渓谷鉄道

市長 仮称わたらせ沿線支援協力会といい、運営、サービス両面の意見交換をして行く。

問 ゴミ持ち去り禁止条例の制定は。

市長 制定に向け前向きに検討したい。

問 ゴミの適正処理について。分別収集の徹底をはかり環境意識の啓発を進める。資源ゴミ専用の指定袋の導入も第一歩。

市長 センターでは、補導と相談業務を中心に、青少年問題協議会は、指導・育成・保護及び矯正の施策の樹立をして行く。互いに補完し合いながらやって行く。

市長 来年度実施予定の都市計画基本調査のデータや上位計画のみどり市総合計画、都市計画マスタープランとの整合性を図りながら進めて行く。

市長 環境財産としての森林機能管理について。

市長 共有財産としての森林の役割は大きい。グリーンツーリズム参加者による植林復元やNPO法人やボランティアと運動を密に幅広く取り組んで行く。例状間伐の推進、後継者の確保育成など経済効果の得る林業経営の安定をはかるための新技術

広和クラブ

市長の進める今後のみどり市のあるべき姿について。

市長 みどり市として他の市町村からも信頼され、また我々みどり市も他の地域から理解され、お互い尊敬しあえる品格のあるまちづくりをしたい。品格のあるまちづくりとは、日本は資源のない国であり、人と技術で生きていかなければならない。その中で当然競争が行われるが、日本は古くから人の気持ちの内で、惻隱の情、武士道精神、物の哀れという感情が養われ、競争しながらルールを作り、生きてきた。また社会の中において先達の話

を聞き勉強しながら生きてきた。最終的には教育であり子供たちに多くの本をよんでもらい色々な分野で経験を積んでもらう事によって、結果として品格のあるみどり市を作り、日本を作ると考える。

問 広域調整室の機能について。

市長 対外的協調関係・道路・教育・いろいろな分野で縦割り行政の弊害を極力排除するための組織機構である。広域のみならず部内の調整も当然図っていく。

市長 桐生広域圏との係わりについて。

市長 今まで同様連携し、尊敬し合い信頼関係を持つて接していきたいと考える。

市長 両毛広域圏との係わりについて。また国が進めている道州制について。

市長 両毛広域圏については協力しながらやっていく。また道州制については国から示された案の中で、北関東州あるいは北関東信越州として2つの案が示された。

市長 現在行われている中学生の国際交流事業について。今後の国際交流事業については、検討委員会を設けて検討する。

市長 18年5月29日より実施されている、残留農薬のポジティブリスト制度基準値を超えると農産物の

出荷停止、回収が求められる)について。

経済部長 群馬みどり農協は

4月に組合員の広報で周知している。更なる防止策として関係団体との連携によって、具体的かつ広範に周知する。

問 上水道の石綿管の更新事業推進については。

水道局長 32年までの間に交換していく。管延長は、約280km。うち石綿管は、94kmで、比率は32%となる。



アメリカフェニックス市との国際交流(笠懸町)

みどり新生クラブ

問 財政改革は、まず歳入の確保であるが市長は新たに受益者負担の適正化、

市有施設の命名権販売、広告媒体の導入等収入の増加が努めるとあるが。

市長 受益者負担の適正化と

は、施設利用の一部有料化、各種個人への補助金制度の見直し等である。

市有施設の命名権販売、広告媒体の導入については、みどり市の資産を民間企業の広告や広報に活用しお互いにメリットのある事業として取り組み意識改革の醸成に役立つものと思う。

問 歳出の面では歳入規模に見合った歳出構造への改革をし財政の健全性の確保とあるが。

市長 プライマリーバランス(基礎的財政収支)の黒字化を目標として債務残高を抑えることが財政的には再建につながることでみどり市もこのような観点で進めていきたい。

公共工事においてはコスト構造改革に取り組み今後4年間でコストを15%削減するとあるが。

市長 企画の見直しによる工事コストの削減や事業のスピードアップ、将来のランニングコスト、維持管理運営等民間の資金や

経営能力、技術能力を活用し、いかに公共サービスの提供ができるかを考え積極的に取り組みたい。

問 経常経費と投資的経費のバランスは7対3が理想であるが、現状では9対1ぐらいで今後の道路行政、公共施設の建設修理等に影響が出ているのでは。

市長 時代の変化に即応した健全財政の構築を予算編成の基本方針として経常経費の徹底した削減に取り組みたい。



笠懸野文化ホール(パル)

市政クラブ

問 マニユフェスト市長公約)の進捗状況の開示に

については。

市長 1年ごとにマニユフェストの開示を行い、個人のホームページを使って公表していく。

問 みどり市におけるユニバーサルデザインについては。

市長 健常者の視点ではなく、障害を持った人、お年寄り等の意見を吸収できるシステムづくりが大事だと考える。

問 自動体外式除細動器(AED)の現在の設置は。

民生部長 大間々庁舎・大間々保健センター・笠懸保健センター・笠懸公民館に設置している。今年度は、東庁舎に設置予定だが、小中学校に特定せず、バランスよく設置していく。

問 学童保育では4年生以上の児童の受け入れ体制が課題であると指摘されているが。

市長 4年生以上の学童保育問題について、国や県の方針にそって各関係機関との連携のもとに進めていくつもりだ。

問 市の補助金の関係で私立幼稚園保育料に格差があるが。

市長 笠懸・大間々の私立幼稚園では、旧2町の補助制度の違いから保育料に格差がある。平成19年度以降保護者の負担に格差が出ないよう補助基準を統一すべく調整を図っている。

問 みどり市の誕生とともに、自分たちの住んでいる地域を愛する心を育てる教育が大事だと考えているが郷土意識を育む教育の具体的な取り組みは。

市長 郷土の環境を守り自然に触れることで自分の郷土を愛し、誇れることのできる人を育成したいと考え、環境教育宿泊体験奨励補助事業を実施する。



私立阿左美幼稚園お遊戯会(笠懸町)

笠懸クラブ

問 行財政改革について質問する。市長は将来にわたって、健全で安定した財政基盤の確立むけて、経常経費の抑制に努めるとともに歳出構造への改善を迫る「とあり、まさにその一語に尽きると思うが。

経済部長 行財政改革は、国県、市の厳しい財政状況にあると受けとめ、市は事業実施にあつては、出と入りの協議を進め、スクラップ&ビルドの視点で進めるべきと考える。補助事業にあつても、受益者負担と公費負担のあり方を見直して行く。

市長 行財政構造の改革はどうしても進めなければならぬ。ただすべてを画一的に進めると言う事だけではいけない。特に弱い立場にある人については配慮し、めりはりのある政策を理解して頂くために、小学校区単位での、タウンミーティング等を実施し、住民の考えを吸収し改革を進めていきたい。

問 新市誕生の舵取りは誰が

やっても大変な時だ。市民へのいいねいな対応により、理解し合い改革が一緒に歩めればと思う。



タウンミーティング(大間々町)

広域クラブ

問 最近の自治体の傾向は電子入札制度導入で一般競争の入札の拡大が見られる。当市でも準備を進めるといふことだが、市内業者のインターネットの利用状況、国、県、先進都市などの電子入札制度の利用状況は。

市長 地域に合った電子入札の仕方を考えている。平成19年度の1月から共同システムの一部である入札参加資格申請受付システムの試行運転を開始し

たいと考えている。

総務部長 インターネットの得意でない企業もあるので、2月には間に合わなかった業者も多数あつたので、県では随時、登録を受け付けるといふふうに変わっている。また地元業者育成という意味で指名競争入札は当然残つて行く。

問 一般競争入札の導入によつて談合がしにくい体制になると思う。入札制度の改革はトップの決断で容易にできると思う。財政難の折り、市長の自覚と見解をもう一度お尋ねします。

市長 勿論そういう意識をまず持つてもらう事が一番大事です。そのルールを使うのは人間であります。その人間がそもそもダメであればしょうがないわけである。まずは、知恵や知識を踏まえる事が大事かと思う。

公明クラブ

問 AEDについて、随時増設とともに今後市民に分かりやすい周知徹底をお願いする。

防犯ブザーは、行政として不公平感があつてはならないので、対象の児童には全員に配布をお願いしたい。その上で、物だけに頼るのではない方向性を見出すべきではないか。

わたらせ渓谷鉄道に關しての住民周知をし、市長の思い入れは置いて、財政的な面、人事的な面等、住民が今後の選択肢が出来るように推進してもらいたい。

笠懸町の中学2校の扇風機設置は、夏休み前をお願いする。

競艇事業については、18年度の契約を、みどり市民本意の契約をお願いする。又、花火の問題については、公金をなぜ投入してまで、花火なのか。遊びの部分も人が運用するのだから大事、又、100万円が良くて、1000万円が駄目とは思わない。

良く精査し公金の使い方は慎重にお願いし負担減で。

他 税の徴収方法、認定子供園、川鶴対策、松くい虫対策、市内循環バス、市

山紫水明クラブ

問 耐震診断後大間々南小はそのままで安全は。

市長 十数年前に診断、コンク補強の必要が有りの判断だ。計画的に対応する。

問 国との知恵比べの時代。駐車禁止の民間委託や市場化テスト法案が次年度通りそうだが。

市長 自治体間でも、知恵比べ、差別化が必要になつたと感じる。

問 わた溪鉄道経営の権限と責任、監督機能は、どのように。わた溪の負債は最終的には、沿線市民が全額負担するのか。

総務部長 議会に社長の出席を求め、勉強会もいいのでは。

問 スプロール化した公共施設の見直しが求められてる。岩宿駅周辺整備事業も、未来都市建設構想のひとつにつながるべきと考えるが。

市長 大所高所からの観点をもち、そのような考え方を都市計画やマスタープランに参考にしたい。

みどり市議会構成決まる

就任のあいさつ

開かれた市議会運営を

議長 藤生 吉雄

この度、みどり市発足後の初議会において、議長に就任しました。旧3町村の合併により誕生した、みどり市の初代議長に選ばれたことは、光栄であると同時に職責の重さを感じております。

市議会は、市長の政策に耳を傾け、安易に妥協することなく、「一歩離れ、一歩離れず」の姿勢で、重要な諸課題に積極的に取り組み、十分な議論を尽くし、後顧に憂いを残すことのないよう議会の使命、役割を果たし、みどり市の繁栄のために尽くす所存であります。同時に、民主的で開かれた市議会運営をしてまいりたいと思いますので、市民の皆様の特段のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



一体感の持てる市づくりを

副議長 竹村 正雄

平成18年3月27日に、2町1村が合併しみどり市となり、みどり市議会も4月10日に臨時議会を開会致しました。議員各位の御推挙をいただき副議長を務める事になりましたので、市民の皆様、就任の御挨拶を申し上げます。

輝くひと輝くみどり、豊かな生活創造都市に向かって努力する所存でございます。議会も執行側と車の両輪となり行財政改革を進めてまいります。産業の振興はもちろんですが、学校教育、社会教育と、取り組む課題は、たくさんありますが、三地域の歴史文化を大事にして出来る限り一日も早く一体感の持てる市になれる様に一生懸命努力致しますので、市民の皆様のご指導をよろしく御願致します。



大会議室を活用した議場

議会運営委員会

委員長 山口 慶一 星野 勝由
副委員長 武井 清 黒田 武夫
委員 宮 武 上岡 克己

金子 繁雄 大澤 賢一

予算特別委員会

委員長 椎名 祐司 古田島和茂
副委員長 黒田 武夫 根岸 哲男
委員 上岡 克己 大澤 映男

須藤 逸雄 大澤 賢一
前原 良一 阿左美 守
松島 茂 小内 信一
金子 信男 新井 康一
斉藤 文雄 伊藤 正雄
加部 喜成 坂本 清
原田 好雄 田部井多市
小林 孝志 草木良江

総務文教常任委員会



松島 茂
委員長



前原 良一
委員



椎名 祐司
委員



桐生地区医療組合議員
斎藤 文雄
委員



荻野 忠
監査委員



常見 詔子
委員



桐生地区医療組合議員
高草 良江
副委員長



伊藤 正雄
委員長

民生福祉常任委員会



桐生地区医療組合議員
大澤 映男
委員



赤石 守一
委員



金子 信男
委員



金子 正男
委員



青少年問題協議会委員
根岸 哲男
委員



宮崎 武
副委員長



大澤 賢一
委員長

経済建設常任委員会



都市計画審議会委員
竹村 正雄
委員



小内 信一
委員



都市計画審議会委員
加川 三平
委員



加部 喜成
委員



山口 慶一
委員



腰塚 正
副委員長



阿左美 守
委員長

総務文教常任委員会



深澤 富四郎 委員



都市計画審議会委員
藤生 吉雄 委員



小松崎 貞雄 委員



農業委員
原田 好雄 委員



農業委員
星野 勝由 委員



都市計画審議会委員
近藤 仁一 副委員



青少年問題協議会委員
黒田 武夫 委員

民生福祉常任委員会



武井 清 委員



田部井 多市 委員



須藤 逸雄 委員



金子 繁雄 委員



都市計画審議会委員
小林 孝志 委員



農業委員
坂本 清 委員



新井 康一 委員

経済建設常任委員会



農業委員
鍋木 孝怡 委員



前原 昇作 委員



都市計画審議会委員
新井 巖雄 委員



須永 榮治 委員



上岡 克己 委員



古美門 君夫 委員



古田島 和茂 委員

市政を問う

一般質問

一般質問とは、議員が市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

この質問権は、住民の代表である議員に与えられた権利です。

一般質問は定例会で行われ、臨時会ではできません。

一般議案

みどり市議会委員会条例の一部改正について
平成17年度みどり市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
平成17年度みどり市一般会計暫定補正予算の専決処分について
平成17年度みどり市国民健康保険（事業勘定）特別会計暫定補正予算の専決処分について

平成18年度みどり市一般会計暫定補正予算の専決処分について
みどり市選挙管理委員及び補充員の選挙について
人権擁護委員候補者の推薦について
みどり市助役選任の同意について
みどり市教育委員会委員任命の同意について
みどり市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について
みどり市障害者自立支援認定審査会の委員の定数を定

める条例の制定について
みどり市監査委員条例の一部を改正する条例について
みどり市報酬費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」請願書と意見書について
加部喜成議員に対する議員辞職勧告決議案について

Q 広域調整室の役割は

A 市政運営に必要なもの

坂本 清 議員



問 石原市長は、24日の初登庁の挨拶の中で、部署を横断した広域調整室を早急に設置したい」と言っていたが、どのような機能を持つて、役割を果たすのか説明を聞きたい。
市長 名称については今のところ仮称だが、縦割り行政の弊害をなくすためと考えていただければ良いかと思う。イメージ的に言えば、学校や道

路、又は観光など部署を横断する事業がたくさんある。隣の桐生市はもとより、伊勢崎市や太田市・日光市など、近隣の市町村と連携を持ち、整合性を保つ事業も多くある。これからの調整も図っていく必要があるポジションだが、部や課局を多く新設してもいかながなものかと思う。総務部の中が、市長直轄が副市長が良いか検討中。先日、伊勢崎の矢内市長が来庁し、表敬訪問と言つことで、色々話の中で、みどり市は隣同志なので是非、色々な意味でタイア

ップしていきたい。役所内にお互いのパンフレット等を置き、情報を共有して発進していきたい」とも言つて頂いた。今後みどり市を運営していく上で必要な調整室だと思っている。

坂本 この調整室を設置することにより、それなりの人材も必要になると思うが、市政繁栄に役立てるよう努力をしてほしい。

その他競艇関係、わたらせ渓谷鉄道の2問について質問した。



執務中の副市長

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



小内 信一 議員

Q 総合サービス型分庁方式の感想 A 市民のサービスを低下しない形で検討したい

問 新生みどり市の総合サービス型分庁方式で、2ヶ月間が経過した。感想を聞きたい。

答 総務部長 各担当課長に聞き、職員の割り振りを見ると、仕事量では無く、合併の想定の仕事量であつたと思う。笠懸庁舎では、住民課や税務課では仕事が追いつかない状態で、東庁舎では少し余裕があるように思う。全庁的に考え



大間々庁舎

田部井 多市 議員

Q 行政改革の進め方は A 限りある財政を効率よく使う

問 みどり市における行政改革についての考えは。

答 市長 今年度予算を8・4%にした。歳出予算のかなりの部分を借金返済に充て、一方有効な財源確保が見いだせない状況の中、命名権の導入、納税をしやすいような体制づくりを進めていきたい。

問 総務部長 特に行政改革を進めていくなかで、財政改革も

てヒヤリングを重ねて確認を取り、職員・市民の声を聞いて検討したいと思う。

問 市長 職員は一生懸命働いている。1年間掛けて検討している。良いか悪いかを集約し、市民にとって、良い市役所になるよう努力して行きたい。

小学生の医療費負担軽減について

問 みどり市の宝である小学生の医療費負担軽減の市長の提案は大いに賛成だ。乳幼児福祉医療費試算を、知らせてほしい。

答 民生部長 医療費の増加分であくまでも推計だが、小学3年生まで無料にすると、4、148万円、小学6年生までは7、655万円、中学3年生までは1億1、116万円1割負担だと、小学3年生で2、765万円。小学6年生で5、103万円、中学3年生で7、410万円の負担増になる。

問 市長 できれば中学3年生までを検討したい。今後学校区毎に、タウンミーティングを行い、良く話し合い検討して行く。

進めていきたい。

問 今後は事業のスクラップアンドビルドを進めていき、また事業の優先順位をつけていく。新たな財源確保を少しでも進め、限りある財政を効率よく使っていく考え。

問 市税収入と歳出額の大きなギャップが見られるが、今後の展望は。

答 市長 財政難の中、いかにコストを押さえるかだと思つ、入りと出をキチンと見直す、これにつぎると思う。

問 長い年月がかかると思つが、一歩一歩積み重ね、そして市

民にもコスト意識や参加意識を強く持つてもらいたい。

問 総務部長 18年度の自主財源は52・9%。依存財源は47・1%だ。基金残高は65億である。

問 各事業の歳出をいかに効率よくやっていくかが、みどり市の将来の財政に対して重要である。



笠懸庁舎内



斉藤 文雄 議員

Q 「地籍調査について」 A 市政運営に必要なもの

問 笠懸町は、既に地籍調査は済んでいるとの事であるが大間々町・東町は、いつからどの様に実施するのか。
経済部長 地籍調査とは、一筆ごとの土地所有者・地番・地目を調査し、更に境界の位置・面積を測量し、登記簿・公図等を新たにするもの。実施には相当な年月と莫大な費用が掛かる。

調査面積は、平坦地で年間50ヘクタール位とされ、県内では大間々町・東町を含め18の市町村が調査未着手である。実施するには地域を定め、財政面や職員体制等を慎重に検討し、県とも相談しなければならぬ。
問 通称、^{あかち}赤道に建物が建っているというが、対策はあるか。
経済部長 事実があれば、土地の賃貸や払い下げ等の事務手続きを行う。
都市計画部長 全てではないが権限移譲により赤道は市の

ものとなった。
問 未登記の土地で納税者が指定されている場合などは、誰を境界の立会人とするのか。
経済部長 立会人は、所有者の全員が基本、未登記で所有者が不明の場合、境界未定で処理せざるを得ない場合も出てくる。
経済部長 実施の方向がまだ決まっていない。



道路測量



旧石材加工センター（東町）

星野 勝由 議員

Q 旧石材加工センターの活用は A トラブル解決に向けて努力

問 旧石材加工展示センターの利用活用をめぐり地権者からクレームがついていると聞くが。
産業観光部長 旧石材加工展示センターは、今年4月地域再生法が適用になり地場産業育成施設、農産物直売所として生まれ変わるうとしている。試験的に農産物を販売する為に、一部改修した事が契約違

反になると指摘をつけたが村としては顧問弁護士と相談の上、若干の改修を行った。
問 今後、解決の見通しは。
産業観光部長 直売組合を結成している人達の為にも解決に向けて努力してゆく。
問 「世界に通用する子供の教育水準を目指す」とは具体的に、どのような事か。
市長 思いやりの心をどう育むかということ、お互いがお互いを理解し尊重し合うということ、自分の住んでいる地域の文化や歴史を知り、きちんと説明のできる人間が世界

に通用する人間だと思う。喜びや悲しみをきちんと理解できる人間になって欲しい。
問 教育水準を向上させる為に、県教委が行っている優秀教員表彰を受けている教員を一般教師の指導役として活躍してもらってはどうか。
教育部長 優秀教育表彰を受けている人には限りがあるが各種研修を受け技術、能力を高めている。同じ様な、力をもった教師が沢山いるので、力を合わせ教育水準を高めるよう努力している。

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



黒田 武夫 議員

Q 社会体育館建設について A 公共交通機関の利用も一つの立地条件

問 旧大間々町の町民アンケートでも、社会体育館建設は要望が多い。3月27日新市がスタートし笠懸町では、単独事業として平成19年度完成を目指し、用地取得の適用を見込んでいます。新市の事業として位置づけを見直し合併後のみどり市で事業の具体化を目指している。住民の健康づくり、体力づくりの観点からも、

問 新市になり重要な課題は格差のない地域づくりである。

大間々町寄りに建設を

社会体育館建設の今後の見通しについては。
市長 現在までの経緯は笠懸町の体育館は建設以来40年以上経過し老朽化も進んでいる。建設については、住民からも要望も多く社会体育館は、必要な施設だと考えている。今年度の予算のなかにも3、700万円の金額を盛り込んでいる。

社会体育館はみどり市全体の利便性を考えて大間々町寄りに建設する考えは。
市長 建設場所等については、当然利用者始め、多くの市民の意見を聞いて実施に向けていきたい。また市民大会だけでなく広域圏や県の大会、小中高生の利用も考えると、公共交通機関の利用も一つの立地条件になる。バランスのとれた真ん中がいいのか、そう言うことも踏まえて進めていきたい。



大間々グラウンド



下水道工事(大間々町内)

Q 単独浄化槽撤去への補助は A 県の制度を前向きに検討

新井 巖雄 議員

問 農業集落排水事業は大間々町の福岡と神梅地区に計画があり、笠懸町では久宮地区の一部が指定区域になっている。福岡・神梅地区は18年度に設計委託の予算が計上されている。受益戸数は少ないが事業費は30億円を超える効率の悪い事業だ。合併浄化槽で充分に対応できる。計画の見直しをするべきではないか。

市長 短期間で32億という多額の費用を投じ、自然流下ができず維持管理費もかかる。総合的に判断し、効率的な方法で汚水処理を行うべく、見直しの方向で調査・検討を進めている。

問 笠懸町久宮地区の計画は。市長 見直しをして行きたいと考える。

問 一部の地域では下水道を使用できるが、下水道を使用するのは何十年先になるかわからない地域もある。これは同じ市民でありながら不公平だ。下水道を当分使用できない地域については、単独浄化槽から合併浄化槽への切替えを政策的に進めるべきだ。合併浄化槽への入替えに補助制度が必要ではないか。

都市建設部長 水質保全の観点からも、単独浄化槽から合併浄化槽への転換は必要不可欠と考える。県でも17年4月から単独浄化槽撤去に対する補助金の交付を実施しており、5市町村がこの制度を採用している。みどり市でもこの制度を調査・研究し前向きに検討して行きたい。



山口 慶一 議員

Q 松枯れ病の対策は？ A 手が回らずまに合わない

問 この何年かのうちに笠懸地区の山での松枯れ病による被害は相当ひどい状態になっているが、その対策はどのようになっているのか。

また大間々地区・東地区にもひろがっているようだが、経済部長 笠懸地区では、市有地の松枯れ病の木は伐採しているが民有地の松枯れ病まで手が回らず倒れそうな木だ



大間々庁舎内

荻野 忠 議員

Q いかに行財政改革を進めるか A 経費の削減をしていく

問 いま行政は、経営意識を求められている。

財政数値の把握や目標数値を明らかにし、市民に分かりやすい行政を目指すべきでは。市長 バランスシートを作成し、他市との比較や各種財務分析を行い、市民の目線で分かりやすく公開する必要があると考えている。

総務部長 財力指数（1・

桐生西分署は

け伐採している。対策が間に合わない状態。大間々地区・東地区でも同様である。

山口 なるべく早く有効な対策を考えてほしい。

問 次ぎに、藪笠分署の廃止により農林業総合センター跡地に仮称桐生西分署の建設計画について、どのくらい進んでいるのか、説明してほしい。

総務部長 18年度設計・19年度完成予定。設計委託費1、

0により近いほうが良い）は0・63で県内12市の中で8位で、経常収支比率（市の適正は70（75%）は16年度ベースで92・3%だ。経費の削減をし、改善していく。公債費比率は10・1%で良いほうだ。

問 総合サービス型分庁方式は、2町1村の対等でスムーズな合併を優先的に考慮した結果であり、事務効率経費削減など合併の主目的からは遠い。

短所をどのように把握、また改善策の考えは。

市長 システムが変わったので、便利などところ不便なところなどいろいろいると思う。市民の皆さんへのサービスが低下しないようにしたいと思う。

できれば早いうちに皆さんからきちんと意見を聞く場面を設けたいと考えている。



鹿田山の松枯れ(笠懸町)

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



前原 昇作 議員

Q 東町学童保育の実施は A 公民館の2階で行っている

問 保育園民営化をどう考えるか。
民生部長 合併協議で民営化推進とあるのでその方向で行く。
問 いつ頃までを目途に進めるか。
市長 具体的には答えづらい。国の施策と合わせ考えるが二、三年後かということも明言できない。
問 東町の学童保育の公共施設

設の利用についてはどのようなになっているか。
民生部長 保育園と同居では不都合が生じているので調整の結果公民館の2階で行っている。
問 旧今泉博士邸の活用方針が見えていない。体制はどうか。
観光政策部長 本年度予算を計上し利活用は交流の場としたい。
問 迎賓館として来客を迎えるようしたらよいと思うが。
市長 私の祖父も博士の胸像建立の副委員長を務めた。そ

の様なれば大変結構な事である。地元の人たちが率先してやるのが一番良いと考える。
問 行政と住民が一体となつて整備した神戸駅前の整備はどうなっているか。
経済部長 本年度予算でやることになっている。具体的には、これからだ。
問 ゼロから出発ということではなく七、八分進んでいるという心構えでやってもらいたい。
経済部長 合併協議の中で農林課でやることになっている。当然その様に予算ができればスタートできる。



ちえのみ学童保育所(東町)



笠懸運動場

Q 社会体育館の位置問題は A 思いは伝わる。経緯も承知

原田 好雄 議員

問 社会体育館の問題は、位置決定だ。これは地域間のつなひきになってはいけない。この事を承知の上で申し上げるが、体育館が最も必要とされているのはどこかということだ。笠懸の実情として学校開放では対応しきれない点、総合体育施設の拠点とその管理機能としての体育館がどうしても計画の所に必要。

市長 思いは伝わった。そのことを含めて理解をしているし、これまでの経緯も承知している。みどり市の体育協会の人達の意見も聞いている。その中でしかるべき時期に決定したい。
問 笠懸の児童数の今後の見通しと、教室などの確保は大丈夫か。マンモス校の弊害は。教育長 今年1、045人でスタートし、平成23年には1、200人になる推計。これまで視聴覚・音楽・図書室など特別教室を減らし、普通教室に改修、23年まで対応できる

見通し。弊害としては体育館などは3、4クラス同時使用で十分な教材・教具の確保に問題がある。通学区が広いので徒歩通学での安全確保の心配。教員の諸連絡・整理や意思確認に多少時間がかかる。
問 児童数にしても社会変動による読みが難しい。調査検討委員会などの設置の考えは。市長 子どもの事は優先的に考えたい、全市的に適正規模について研究する過程で委員会設置が適当なら進めたい。



パルまへの路線バス(笠懸町)

Q バス路線のみなおしはあるか

A 必要性も含めて検討が必要

武井 清 議員



問 路線バスの利用状況は。
総務部長 一日平均37・7人、前年から25%増。
問 笠懸に乗り入れたバスは試運転であるということだが、確認したい。
総務部長 前町長の選挙公約、合併に間に合わせるために新路線は無理だということになり、現在の路線に落ち着いた。国・県の許可を得るにあたり、採算性が重要な条件になっているので、試行運転である。
問 50号以南、バスは走っていない。その地域の高齢者に対しての市長の考えは。
市長 37・7人という数字は決して多くはない。バス路線の無い地域のお年寄りからの意見は聞いている。しかし行政サービスという観点から見ると、全地域に巡回させることが良いのか議論のあるところ。たくさんの方々の意見を聞いて早急に判断を下すべき問題。
問 福祉タクシーとの整合性は。

総務部長 路線バスの見直しに関しては、それにかわる足の確保も必要、バスでいくのか、タクシー券で行くのか、行政サイドとして効率性を考えた対応をしなければならぬ。
問 巡回路線について住民の不信感がある。十分な検討をしてほしい。バス会社への路線毎の支払は、どうなっているのか。
総務部長 確認の上、後日解答する

Q 子育て支援の拡充を 学童保育を6年生までに拡充を

A 100%満たすような努力をしていく

高草木良江 議員



問 子育てと仕事が両立できる環境づくりのために、病児・病後児保育の拡充を。
民生部長 笠懸町のたけのこ保育園で実施している。計画的に可能な保育所と協議を進めていきたい。
問 放課後の子どもたちの安全確保や、子育てと仕事の両立の支援のために、学童保育を小学6年生までに拡充を。

市長 学童保育のニーズと要望は私も聞いており、100%満たすような努力をこれからしていくと考えている。
問 子育て環境の充実のため、妊娠から子育て相談まで総合的に支援する窓口の設置が必要と思うが。
市長 子育てに関する相談業務は児童福祉担当課であつている。内容については、各関係部所等と連携を基本に鋭意検討していきたい。
問 妊婦一般健康診査を現在、妊娠前期・後期に1回ずつ計2回、無料で受診できるが、

第一子を出産される人への無料健診を増やしてほしい。
市長 合併協の中で、みどり市の母子保健事業は、近隣市町村と比べて一定水準以上を維持しており、財政的な負担を考慮し、先送りにした経緯がある。今後良く検討していきたい。
問 市独自で、不妊治療へ公的助成金制度の導入を。
民生部長 助成制度を実施の市町村は、さまざまな限度額を設けている。今後、制度化については検討していきたい。



学童保育(大間々北小)

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



金谷 正男 議員

Q 防犯カメラの増設は考えているか A 現在考えていない、防犯灯で対応したい

問 市のホームページ上の不審者・危険情報を犯罪抑止の目的で『青パト』で、音声と音量と表現に配慮して巡回伝達をめざしてはどうか。

市長 音声を出しながら青色灯パトカーが巡回することは効果があると思う。複合的に物事をからめながら、よりよい方法を見出して行きたい。

問 青少年の健全育成と保護

を目的とする協議会等の設置は、いつごろになるのか。

市長 さまざまな対策事業があり、その一つに青少年センターの設置があり、青少年問題協議会の設置がある。新年度体制が整った後、実際の活動は、夏休み明けの頃かと考えている。

問 野放しに近い野外広告物、大きさといい、色使いといい、地域の景観・風致を害する最たるものである。住環境上からも、景観保全の上からも、さらには、市の観光戦略を展開して行く上でも何らかの規

制をかける必要があると考えるが、市長の考えを。

市長 現在は、県の屋外広告物条例でのみ規制が可能である。市町村が独自に条例を制定するには、平成16年制定の景観法に基づき県との協議が必要で、県の同意を受け景観行政団体となる必要があり、現在、伊勢崎・富岡・高崎の3市が景観行政団体となっている。良好な景観の形成を推進するためには、屋外広告物を含めた景観全体について、まちづくりと合わせて取り組む必要があると考える。



青色パトカー



富弘美術館(東町)

Q 観光行政の実施対策は A みどり市観光物産協会を設立

松島 茂 議員

問 みどり市における観光行政の充実が、新生みどり市を一体化させ、各地域の活性化につながると思うが、その施策について。

市長 「観光ともてなし」という言葉がある様に、どの地域にも豊かな歴史と文化があり、文化産業は重要な観光戦略である。観光産業に対する共通認識を持っていただく取り組み

みとして、みどり市観光物産協会」の設立を考えている。

問 教育委員会の所轄であるスポーツ文化振興施設は、観光政策の一翼を担える施設である。又産業観光の観点から経済部・農林課・商工振興課との連携が必要であると考えが。

市長 観光政策部と他の行政部門との横の連携を図りながら資源の有効活用をしていく、具体的な方策として、農林業では都市との交流事業やグリーンツーリズムの様な体験型の「顔の見える観光」を推進

していききたい。

問 観光行政とは、民間への波及効果がどの程度あったかでその価値が評価されると思うが、市の観光施設と民間の施設との連携を今後どう取って行くのか。

市長 民間の関連観光施設とのタイアップが必要で、情報を全体で発信できる仕組み作りが必要である。観光物産協会等から優れた企画委員を推薦いただき、民間の発信でパンフレット等の作成や事業展開を図っていききたい。



砂防施設の現地視察(東町)

Q 砂防施設整備計画の進展は

A 国県に早期完成を要望する

腰塚 正 議員



問 花輪地区の渡良瀬川砂防施設整備計画の早期進展は。市長 砂防施設整備計画は、水制工の設置、護岸の補強、低水護岸の設置、自然豊かな環境の特性を生かし、観光開発につながる川づくり検討委員会が開催されていることを聞いている。住民の安全で安心して暮らせるように早期着工・早期完成を国県および関

係機関に要望をしていく。問 安心して暮らせる町・子供や弱い立場にいる人々に配慮した市制について。市長 考えられない事件が現在起きている。地域は地域の人を守るスタンスで進め、名前と顔がわかることが大切で、地域の安全を進めていく。総務部長 笠懸町では安心・安全町づくり条例がある。みどり市として、今後の進め方について検討している。問 高齢者交通対策の配慮を。市長 高齢者障害者の交通手段は社会参加を勧めるために

も重要。旧2町1村の制度に差があり巡回バスや移送サービス、福祉タクシー券などについて包括的に検討したい。東地区のNPO法人グループ28の活動に対して、今年も支援して行きたい。問 家族の悩み、結婚相手が見つからず、大変困っている対策を。市長 男女の出会いの場づくりを市が中心となつて、企業や団体に呼びかけ、交流の場が必要であれば、喜んで検討する。

Q 18年度競艇事業契約の見通しは

A 損をしないよう努力する

伊藤 正雄 議員



問 民間委託イコール「丸投げ」と言う誤解の議論があるが、今回の民間委託契約は、省令の改訂により行なわれたのであって、「丸投げ」ではないと理解しているが所見を。競艇事業局長 執行全体、売り上げ金については全額事務局が管理し、出費しているの

で、きちつと処理されている。問 なぜ平成18年度に入つて市側受け取り分が結着しておらないのか。契約見通しは。事務局長 会社側は、売り上げが下がつておるので、市取り分を減額してほしいとの事だ。市側が損をしないよう努力していく。問 会社側は売り上げが下がっているとの事だが、①改革によつて24億くらい改善がなされた。②平成17年度の売り上げは改革前の売り上げに戻つており、SG競走の収入も多額にプラスになっている。③平成18年度は委託前売り上げ、423億円を上回り、S

G競走を含め660億円の大幅な売り上げ見込、更に選手賞金1億円減額と予定外の公営企業納付金の戻り、9,000万円等も会社側の収入に新たに見込まれる。減額どころではない。競艇事業局長 数字で予測するならご指摘の通りです。問 15年3月契約合意書は4億6,000万円から5億7,500万円に向け、相手が誠意をもつ協議するところがあるが市長 競艇事業はまだ、わからない部分があるので勉強し交渉に当たりたいと思う。



桐生競艇

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



鍋木 孝怡 議員

Q 幹線道路が発展の基礎 A 緊急性を考慮して進める

問 多様化する市民のニーズに応えるため、生活環境の整備、産業経済の振興整備及び幹線道路（市道整備）が発展の基礎では。

都市計画部長 ①敷塚インターまで乗り入れ30分構想が最も効果的な道路網計画とし進めることがみどり市発展の根幹で、国、県と連携をとりながら進めていく。②50号線バ

イパスについては、都市計画の決定を受け、西部幹線と名称し、延長2・1km、幅員33・25mの事業で、地域地権者に説明会を開催する。③大間々高津戸線、本年度は橋の左岸橋脚工事を着工し、20年に完成予定。④寅久保バイパス線は18年度工事で、福岡記念館前の取り付け道路整地予定。⑤根利大間々線部分的改良工事実施中で18年度貴船神社手前まで8月15日完成予定。⑥花輪大畑線は、県が代行工事により18年度完成予定。⑦みどり市道一級の13号線瀬

戸ヶ原は、18年度で用地買収を済ませ、翌年から工事着工していきたい。延長230m。問 赤城駅南部道路整備、7路線の改良事業の内、通学道路整備を安全性を重視し推進してほしい。

市長 今後は、地元の区長・地権者・市会議員の皆さんに協力をしていただき、用地交渉が決まれば予算を申請し、改良工事を進めたい。また限られた予算なので、即対応とは行かないが、緊急性等考慮した上で進めていきたい。



赤城駅



乳児健診(笠懸保健センター)

Q 住民にやさしい施策を A 検討の上対応する

宮崎 武 議員

問 母子父子家庭の医療費所得制限の課税対象家庭は？

民生部長 21軒、総額255万1,500円。

問 2町1村が合併するに当たり様々な住民に対する財政カットが行われた。今後一つ一つ精査していくが、母子父子家庭に対する課税所得145万円未満は、対象外では。借越だが弱者擁護の観点から

は、困るので、検討の上児童医療費拡大枠とセットで改定を要望したい。もつと住民に優しいみどり市の施策を期待し又強く要望する。

民生部長 検討の上、対応して行く。

問 身障者3級に対する課税枠と対象世帯は、又弱者擁護の姿勢のない協議は、納得出来ないのてよくよく考慮してもらいたい。

民生部長 合併協議会において決定したので理解願いたい。が配慮を検討していく。

問 川鶴に対する認識は。

経済部長 県等とも協議の上、認識を新たにしたい。

問 有害鳥獣捕獲規制にのつとり対応してもらいたい。

経済部長 協議の上、対応する。

問 笠懸町西鹿田の産業廃棄物不法投棄現場の現況は？

経済部長 現在、約10分の1程度残が。

問 建物がある事による、犯罪の温床になつては困るのではないが、早期に全面処理と建物撤去を要望する。

経済部長 関係各方面と協議の上、撤去できればと考える。

○ 鉄道事業の営業実績

区 分	輸送人員（人、％）			旅客収入（税込み、千円、％）			
	16年度 a)	17年度 b)	(b/a)	16年度 c)	17年度 d)	(d/c)	
一般旅客	326,381	419,716	128.9	162,958	158,730	97.4	
定期旅客	通勤	53,092	28,768	54.2	8,982	4,499	50.1
	通学	310,548	155,602	50.10	40,492	20,015	49.4
	定期	363,640	184,370	50.7	49,474	24,514	49.5
計	690,021	604,086	87.5	212,432	183,244	86.3	
雑収入				38,227	39,724	103.9	
合 計	690,021	604,086	87.5	250,659	222,968	88.9	

Q わたらせ渓谷鉄道の再生計画について

A 危機的な意識のもとで取り組む

古美門 君夫 議員



問 「経営改善計画」初年度の平成17年度経営実績について、再建の切り札として発売した夢切符の販売状況について。

総務部長 夢切符の販売実績は3,922枚と極めて不本意な結果になった。経営実績は鉄道事業、関連事業を合わせ1億8,900万円程赤字、財政支援1億2,000万円、資金不足による追加の財政支

援6,000万円(第2基金取崩)を含め決算上は1,000万円程度の赤字となった。

問 結果は深刻、真摯に反省することが必要。結果を受けて3年間で収支の均衡を図るという再生計画に対し夢切符の今後の取扱も含め再生検討協議会と会社側ではどのような協議がなされたのか。

総務部長 幹事会で改めて再生計画をたてるよう確認し要望した。現在会社側で計画をたてていると聞いている。

問 合併により、みどり市民の共通の財産になったわけだ

が、最悪の事態にならぬよう市民にも解り易くまた沿線住民とともに一体感の持てる再生計画を示す必要がある。

市長 わたらせは文化、再生については体と智慧を出来る限り使いたい。新市の一体感として、東町はもとより大間々町、笠懸町と同じ問題意識を持つことが大事、きちっとした方向性をもち、時限も区切った切羽詰ったものであるという危機的な意識のもとで取り組んで行きたい。

Q 黒塗り市長車はすぐ売却したか

A まだ売却していない

常見 詔子 議員



問 小学校単位のタウンミーティングは、どんなテーマで市長 今回は教育・子育て環境について。

問 新庁舎は建設しないといっているが、その費用はどう活用するのか。

市長 建設費は福祉全般に使う。又、笠懸町で積み立てた庁舎建設基金1億2,000万円は議会と相談して決める。

問 市内循環バスの導入について利用者のニーズ調査や、福祉タクシーのような、戸口から戸口までの送迎など全般的に考えてほしい。埼玉県騎西町(きさいまち)では、高齢者や障害者が登録し、予約して自宅から目的地まで運ぶ「デマンド方式」といわれるコミュニティバスが好評。

市長 バスのあり方、意見を吸収し集約して検討したい。

問 小規模業者の登録制度をみどり市全体に広げてほしい。

総務部長 登録業者44件で7件しか仕事がなかった。

問 仕事のある無しについては、自治体の姿勢が問われる。住宅リフォーム制度が全国に広がっている。みどり市でも考えてほしい。

総務部長 他の制度との整合性や、地域の活性化について業者と話し合いもして、協議していききたい。

問 不要資産は売却する。黒塗り市長車は、当選後すぐに売却するところがあるが。

市長 まだ売却していない。1ヶ月半が、すぐとは思っていない。



黒塗りと色塗りの公用車

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。

その他の質問

阿左美 守 議員



問 わたらせ渓谷鉄道について

①株主としての経営参加はどうなっているのか。

②再生協議会での存続の方針はどうなっているか。

問 花輪地区川づくり

①市としての事業の取り組み進め方は。



税務課(笠懸庁舎内)

会派名簿

新緑クラブ (12名)	上岡 克己 腰塚 正 斎藤 文雄 鍋木 孝怡 須藤 逸雄 松島 茂	前原 良一 金谷 正男 深澤 富四郎 須永 榮治 金子 繁雄 金子 信男
広和クラブ (9名)	小林 孝志 武井 清 原田 好雄 星野 勝由 古美門君夫	新井 巖雄 大澤 映男 田島 和茂 根岸 哲男
みどり新生クラブ (5名)	大澤 賢一 阿左美 守 小内 信一	近藤 仁一 赤石 守一
市政クラブ (4名)	前原 昇作 椎名 祐司	小松 貞雄 新井 康一
笠懸クラブ (3名)	伊藤 正雄 竹村 正雄	坂本 清
広域クラブ (3名)	黒田 武夫 田部井多市	加川 三平
公明クラブ (2名)	宮 武 草木良江	
山紫水明クラブ (2名)	山口 慶一 荻野 忠	
日本共産党	常見 詔子	
無所属	加部 喜成	
議長	藤生 吉雄	

備考 会派所属議員氏名の記載順序は暫定的に
会派届に添付された名簿の記載順とした。
：代表者 (7月25日現在)

A Q 市民税・国保税の未収は 早急な体制見直しを

大澤 映男 議員



問 市民税・国保税の滞納状態を各地区ごとに。
総務部長 平成17年度笠懸町滞納繰り越し額は、市民税で2億6、700万円。滞納分の収納率は24・5%。国保税の収納率は800万円。収納率24・3%、大間々町、市民税2億5、000万円。収納率12・9%。国保税2億4、600万円。東村、市民税48

0万円。収納率16%。国保税560万円。全体で滞納繰り越し額は、市民税で5億2、200万円、未収金4億1、500万円。収納率18・9%。国保税5億7、000万円、未収金4億7、600万円、収納率19・4%。
問 総額8億4、000万円の未収金についての考えは。市長 かなり良くない。収納率アップは重要な課題。
問 市長の人事案件に載っている人達は納税に関して間違いないのか。
総務部長 個人情報保護法の

観点から公開はできない。
問 各種委員会の委員や議員の中に納税義務を怠っている者はいないか。
市長 各種委員等は私が自信を持って推薦したということに回答として欲しい。議員に関しては、個人の問題。私自身は県議の職務中から滞納は無い。
総務部長 滞納整理が進むよう体制の整備を早急に進めたい。

まちの声



笠懸町

一ノ瀬 律子

「あしの会」で月1回。笠懸地区の各小学校の1、2年生を対象に本の読み聞かせをしています。今年はその活動が充分にできない状態です。放課後の子ども達は集団下校をしなければならないからです。

近年は、子どもが被害者になる事件があまりにも多いので、たとえ40分間の読み聞かせでも、そのために児童が一人で帰宅することは好ましくないことです。

子ども達が、もっと気軽に楽しく本と親しむ機会を増やすためにも、これから皆が安心して暮らせる「みどり市」になってほしいと願っています。



大間々町

下山 博

新設みどり市が誕生し数ヶ月、現時点で考えてみると、旧2町1村の名前が一緒になり、役所の機構が一つになったのみで、一般の市民から見ると何の変化もなく、時間が経過する様に感じます。変化が有ることが良しとも思いますが、合併した一体感に欠けることも事実です。時間的制約の為、決めるべき事が、決まらなかったのが実情と思います。しかしなるべく早急に、旧町村の持つ歴史、文化を尊重しつつ現在「パラバラ」なものは一つに決めて、行政の中で実行しないと、一体感の醸成にならないと思い、早い決定を要望致します。



東町

今泉 紀美代

情報の少ない、高齢の私達は、合併によって生活が変わってしまうのではないかと、とても心配でした。現在は変化はなく日々を送っています。しかし、この先介護を必要とする時、ぜいたくや、わがままではなく生きて行く為に必要な訴えでも、この僻地からの小さな声では行政に届かないのではないかと、心配です。来年の市議会議員の選挙には、その所をよく考慮して頂きたいのです。わたらせ渓谷鉄道は、私達の命です。残して下さい。東町に、若者の増える産業を、考えて下さい。山峡に生きる自然の美と私達の生活をしっかりと見守って下さい。

編集後記

みどり市の第1回定例会が平成18年度の予算審議を筆頭に、新執行部人事、各種条例案の審議等、重要議案を約1ヶ月をかけ、無事終了しました。

43名の議員が一堂に会し旧町村の議会運営から、みどり市としての、新しい市議会運営の形態へと大きく様変わりする中、とまどいと緊張の連続でしたが、多くの収穫を得ることは出来ました。

市民の皆様へ、みどり市としての成果をお届けいたします。

今回の議会を通じ笠懸町、大間々町、東町のそれぞれの地域が、さまざまな問題を抱える中、お互いの地域を理解し合い長所、短所を認め合いながら、みどり市としての一体感を醸成していくことが急務であると改めて実感しました。

私たち編集委員一同は、議会だよりの充実を通して市民の皆様とのパイプがより太くなることを念じてお

次回定例会（予定）

9月5日(火) 午前10:00～

皆さんの傍聴をお待ちしています。

問い合わせ ☎ 76-1970

ります。

また、親しまれる議会となるために、大勢の皆さんの傍聴をお待ちしています。市民の皆様からもご要望をお寄せください。

（古美門 君夫）

編集委員

委員長 古美門君夫
副委員長 新井 巖雄
委員 常見 詔子
金谷 正男
椎名 祐司
坂本 清
松島 茂
田部井多市